

もくじ

1. ハーメルンのふえ吹き	2
2. やせたメンドリ	20
3. マルーシュカと12の月	34
4. ヤギとコオロギ	62
5. ネズミとゾウ	84
6. 美女と野獣	100

ハーメルンの ふえ吹き

原作： 世界の昔話
イラスト： kotokoto
編集： YellowBirdProject

つぎ ひ そら たいよう のぼ まえ
その次の日。空にまだ太陽が昇る前。

わかもの まち ま なか ひろば た ふえ
若者は町の真ん中にある広場に立って、『笛』を
ふ はじ
吹き始めました。

ふえ ね す よ
すると、その笛の音に吸い寄せられるように、あちこち
と だ
からネズミが飛び出してきました。

まちじゅう わかもの まわ あつ
やがて 町 中 のネズミたちが、若者の周りに集りまし
た。



ふとマルーシュカの耳に、風の音にまじって、人の
話し声のようなものが聞こえてきました。

声の聞こえた先を見てみると、少し離れた木々の間
から、かすかな灯りがもれているのを見つけました。

マルーシュカは深い雪に足をとられながらも、その
小さな灯りを目指して、さらに森の奥に入って行きました。



商人は、ベルがバラの花をお土産に欲しがっていたのを
思い出し、中庭に降りて、一本の赤いバラの花を、茎から
折りました。

すると、突然。

「おい、きさま！ なんてことをする！！」

叫び声と共に、商人の目の前に、『野獣』が現れました。
商人の倍以上の背丈で、体は茶色い毛で覆われ、イノシシ
のような顔に、口から二本のきばを生やしていました。
野獣は真っ赤な瞳で、商人をにらみつけました。

「せっかくもてなしてやったというのに、
おれの大切なバラに手をつけるとは！」
「すみません、ど、どうかお許しください・・」
「だめだ。おれのバラを折った罰だ。お前の命をもらう！」

